

ないぐ そうちくぼくせき
64. 大愚宗築墨蹟

■ 指定日

平成2年12月12日

■ 種別

有形文化財 書跡

■ 年代

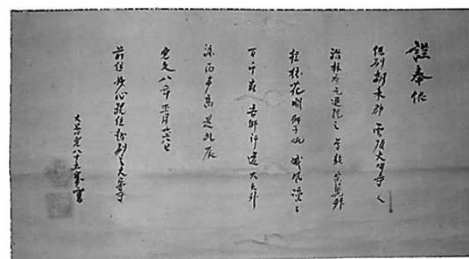
江戸時代

■ 所在地

朝来市和田山町寺内

■ 所有者

光福寺



■ 内容

臨済宗の僧、大愚宗築の書で、寛文8年(1668)のもの。

大愚宗築は美濃国武儀郡の人で、俗姓は武藤。京都妙心寺の一宙東黙に参じ、法は南泉寺四世智門玄祚に次ぐ名僧であつた。

さらに、生野町の雲頂山大明寺を中興開山し、人々から大変慕われた僧であつた。寛文4年(1664)には、霊元天皇(在位1663～1686)から「諸相非禅師」号を賜つた。

謹
奉
依

但州朝来郡雲頂大明寺

潜林座元退院之尊顔宗策拜

桂杖花開獅子吼 威風凜々

万千春 吾師行道大天外

涙雨声高是北辰

寛文八年正月廿六日

前住妙心現住越州之大安寺

大愚老八十五歳書